

令和7年度 全国農業委員会会長大会

～「地域計画・目標地図」の
ブラッシュアップに向けて～

令和7年5月28日

新潟県阿賀野市農業委員会 会長 見尾田 正行

実践報告

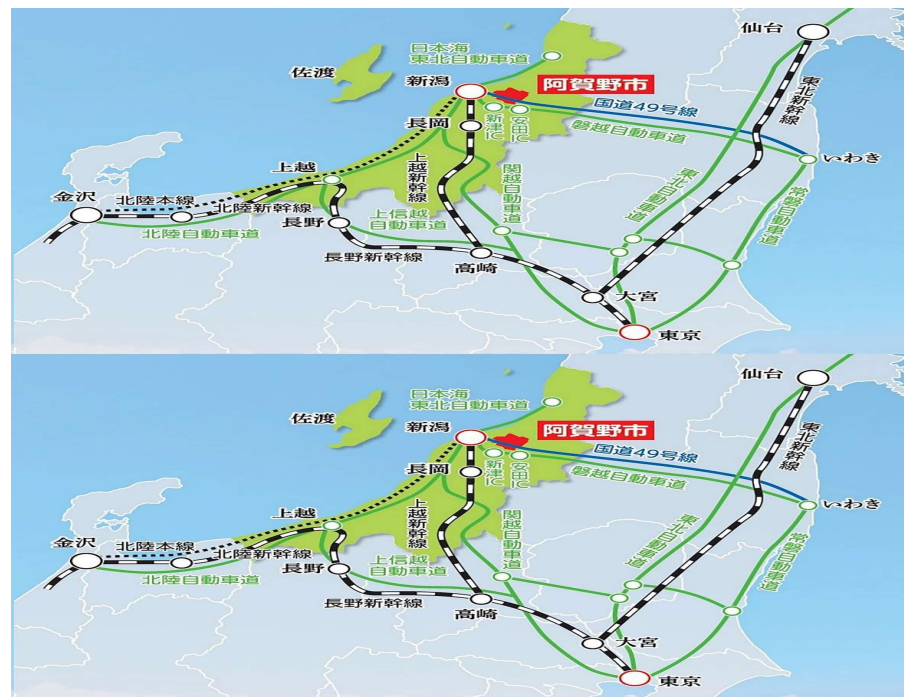
- 1 阿賀野市の概要
- 2 地域計画の策定・実現に向けた取組
 - (1) 推進体制
 - (2) 意向調査・集落の話し合い・協議の場
 - (3) 目標地図の成果
- 3 「地域計画・目標地図」のブラッシュアップに向けて
 - (1) 今後の取組
- 4 決意表明

1.阿賀野市の概要

地 勢

阿賀野市は、新潟平野のほぼ中央に位置します。南側に大河阿賀野川が流れ、東側に標高1,000メートル級の山々が連なる五頭連峰、それを背にして形成された扇状地には6,500ヘクタール余りの水田が広がります。JR羽越線や磐越自動車道、国道49号をはじめ3つの国道が市内を走り、新潟駅や新潟空港までは車で30分圏内と、県都新潟市への交通利便性が高い地域です。

- ・人 口： 38,890人 (R7.4)
- ・総面積： 約193km²
- ・耕地面積： 6,730ha
(田6,240ha 畑490ha)
- ・総農家数： 2,035世帯
- ・委員構成： 農業委員 15名
農地利用最適化推進委員 11名
(任期:令和4年7月～令和7年7月)



平成16年に合併 阿賀野市
(京ヶ瀬村・安田町・水原町・笹神村)

阿賀野市のみどころ

～瓢湖・温泉・五頭山など～



瓢湖



五頭温泉郷



五頭山



新江の桜



道の駅あがの

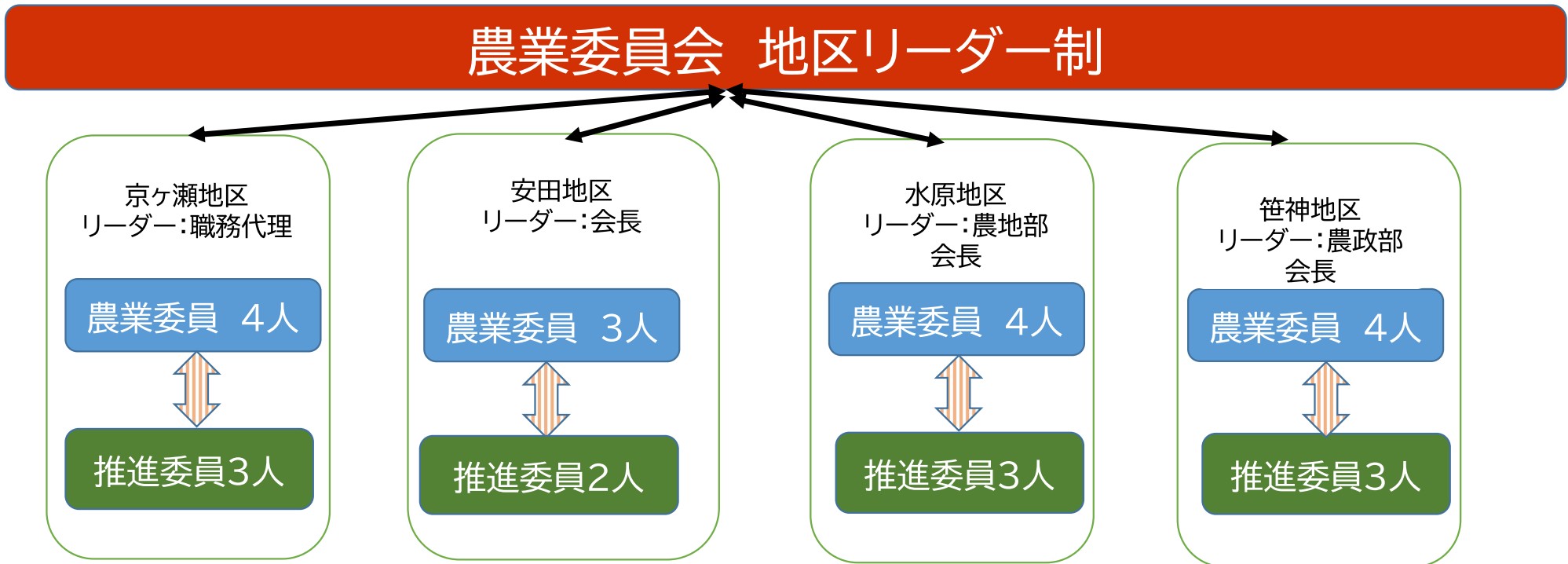


瓦ロード

2. 地域計画の策定・実現に向けた取組

(1) 推進体制 R4.7月から

■ 改選・委員削減を機に農業委員会で「地区リーダー制の採用」



■ 市農林課と農業委員会で役割分担や進め方の話し合いを開始

(2)意向調査・集落の話し合い・協議の場

地域計画経営状況調査 規模縮小(離農含む) 結果						
区 分	地区(戸)				年度合計(戸)	
	安田地区	京ヶ瀬	水原	笹神		
1年以内	29	24	25	20	98	地域計画前
1年超3年以内	20	27	32	15	94	地域計画後↓
3年超5年以内	33	35	30	45	143	//
5年超10年以内	40	41	51	39	171	//
計	122	127	138	119	506	

山形県：話し合いの進め方マニュアルを参考

(R5 地域計画経営状況調査結果より)

集落の話し合い (集落座談会・目標地図)

- 集落数 213
- 実施 175
- 日程 R5. 7/30～R6. 12/5
- 内容
 - ・地域計画・地図の説明
 - ・方向性の確認(粗々・ほぼほぼ)
 - ・10年後誰が耕作するのか
 - ・集落内耕作者の状況
 - ・農村集落活動の維持継続

ポイント

現状維持で話を進めていたが、集会を重ねていくことにより、スタッフと気軽に話ができるようになると、10年は耕作できないから、私の色を外してくれ、若い人に任せろ。など話が出てくる場面もあります。

地主さんへは耕作者へ任せてよいか、集落説明会時に意向を聞いている集落もあります。(耕作者が少ない集落)

「農委のころえ」作成



サポートシステム入力へ

協議の場 詳細

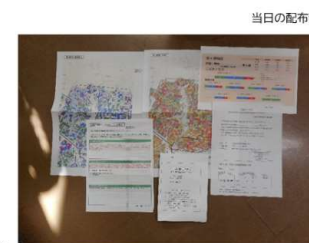
- 日程
 - 1回目 R5. 7/16～7/30 (3日間) (336人)
 - 2回目 R6. 2/23～2/25 (3日間) (409人)
 - 3回目 R6. 7/27 (1日間) (232人)
- 参集者 農家組合代表等 集落から3名程度
- 協議内容
 - 地域計画エリアや、スケジュールについて説明後、各区域に分かれ、現況地図・意向調査の結果を見ながら話し合いを実施
 - *現況地図 A0版 2種類
 - *農業経営意向調査結果 A4横
 - *連絡シート A4縦

(連絡シートで集落と地区担当委員のつながりを維持することに努めた。)

ポイント

集落ごとの協議の希望日を記載する【連絡シート】を返信用封筒とともに渡した。提出率も良好でスムーズに集落の話し合いの日程が決まり、話し合いを開始しています。(175集落/213集落)

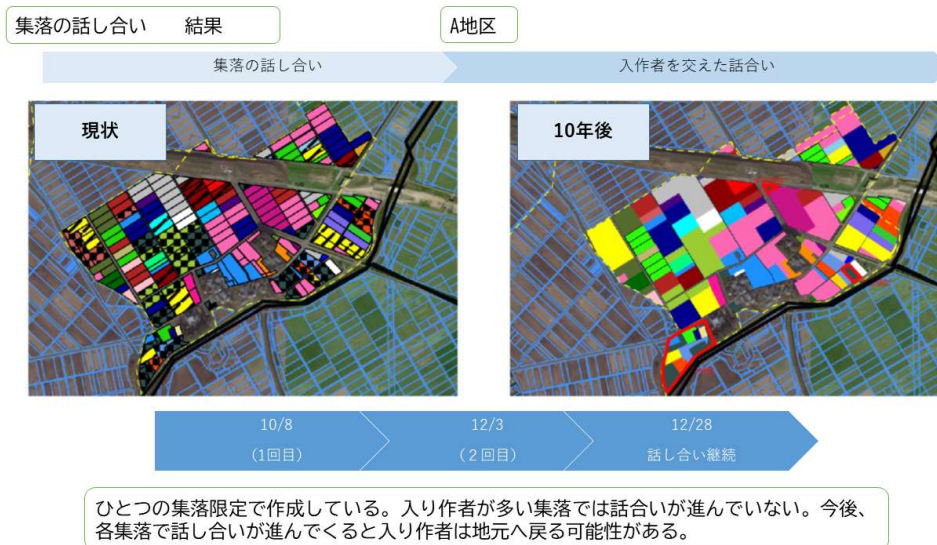
(集落説明会等へ回っていないが26集落は何かしらの連絡あり12集落回答無し)



当日の配布物



(3)目標地図の成果



○目標地図の素案は、出来たものの現況地図がほとんど。

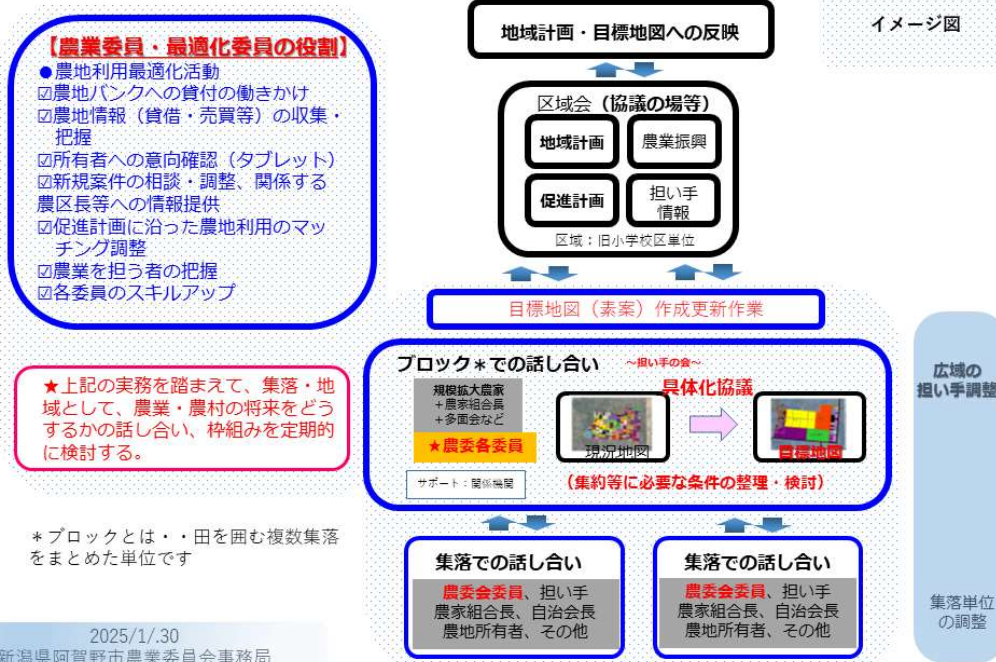
○10年後耕作者が減少し、遊休農地が増えないよう集落の農地を集落で守っていかなければならないことを認識した。

3.「地域計画・目標地図」のブラッシュアップに向けて

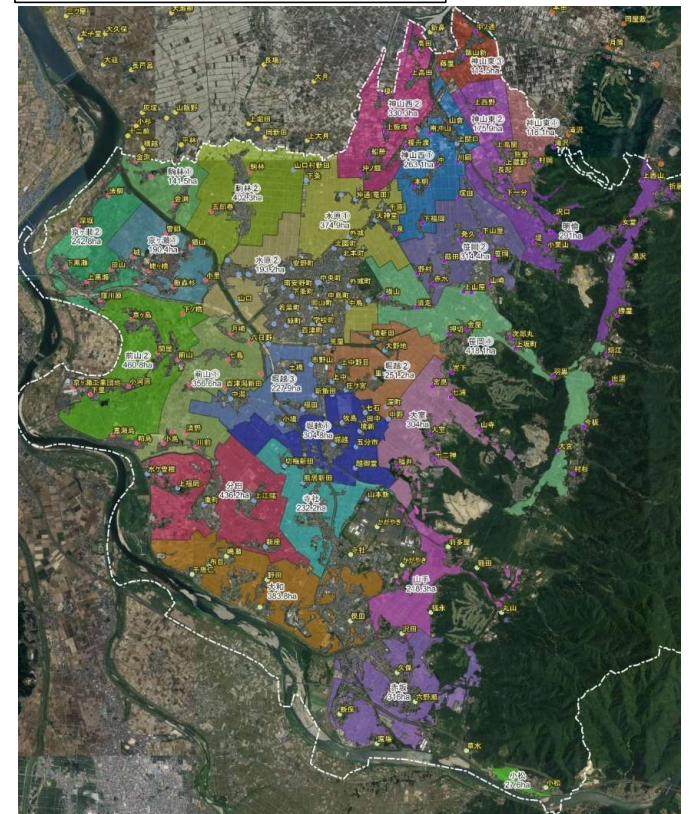
(1)今後の取組

京都府農業会議：今後の取組参考

ブロックによる地域計画（目標地図）の更新に向けて



ブロック割り図



4. 決意表明

■ 「地域計画」策定がゴールではありません。

これからがスタートです。

10年後に目指す地域の農地利用を示した「目標地図」のブラッシュアップに向けて、話し合いを継続します。

この取組みが、国民の食料の基盤となる“農地”をそして“農業”を守ることにつながると信じています。

全国の農業委員会長の皆さん 共に、がんばりましょう。



ご清聴ありがとうございました。